

大会宣言（案）

山梨県内の労働災害による死傷者数は、昭和35年をピークに長期的には減少傾向にあるものの、近年は増減を繰り返しながら推移している。令和5年の新型コロナウイルス感染症を除く休業4日以上の労働災害は911人と3年連続して増加し、平成9年以降最多となった。また、労働災害による死亡者数は、7年連続して一桁台となったものの、7人の尊い命が失われた。

一方、労働者の健康を取り巻く環境をみると、一般健康診断による有所見率は高止まりの状況にあり、全国平均と比べてもその割合は高く、依然として受診者の約6割が脳・心臓疾患につながる所見を始めとした何らかの所見を有している状況にある。

加えて、過重労働や化学物質などを原因とする健康障害防止対策及び職場におけるメンタルヘルス対策の推進等、労働者の心身両面にわたる健康確保や病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立支援が重要な課題となっている。

昨年度から始まった「山梨第14次労働災害防止計画」では、「国、事業者、労働者等の関係者が一体となって、一人の被災者も出さない」ことを基本理念とし、「事業場の規模、雇用形態や年齢等によらず、どのような働き方においても、労働者の安全と健康が確保されていることを前提として、多様な形態で働く一人ひとりが潜在能力を十分に発揮できる社会の実現」を目指すこととしている。

令和6年度山梨県産業安全衛生大会の開催にあたり、本大会を契機に、労働災害のない安全で健康に働くことができる職場環境の形成を実現するため、山梨県内の全ての事業者、労働者、関係団体及び行政が一丸となって、労働災害防止に取り組むことをここに宣言する。

令和6年10月9日

令和6年度 山梨県産業安全衛生大会

令和6年度

山梨県産業安全衛生大会 プログラム



日 時 令和6年10月9日（水） 13:30開会（12:30開場）
会 場 山梨県立文学館 講堂（甲府市貢川1-5-35）

主 唱 山梨労働局、甲府・都留・諏訪労働基準監督署
主 催 一般社団法人 山梨県労働基準協会連合会
建設業労働災害防止協会山梨県支部
陸上貨物運送事業労働災害防止協会山梨県支部
林業・木材製造業労働災害防止協会山梨県支部
公益社団法人 ポイラ・クレーン安全協会甲信事務所
一般社団法人 山梨県鉄構溶接協会
公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会山梨県支部
一般社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会山梨支部
共 催 独立行政法人労働者健康安全機構山梨産業保健総合支援センター
後 援 山梨県
一般社団法人 山梨県医師会
日本労働組合総連合会山梨県連合会
山梨県経営者協会
中央労働災害防止協会

大会次第

- 1 開会式 13:30 ~ 14:00
開会の言葉
主催者あいさつ
山梨労働局長あいさつ
来賓祝辞
- 2 表彰式 14:00 ~ 14:15
安全衛生表彰授与
功績賞・安全衛生推進賞授与
受賞者代表謝辞
- 3 大会宣言 14:15 ~ 14:20
(休憩 14:20 ~ 14:30)
- 4 特別講演 14:30 ~ 15:15
「ハラスメントの防止と心の安全」
～ハラスメントが招くメンタルヘルス不調と防止の取組～
あさぎ経営サポート 所長
社会保険労務士 八巻 俊道 先生
- 5 事例発表 15:15 ~ 15:35
「新ヒヤリハット報告の分析がもたらす新たな安全活動」
～チャットGPTを活用したDXによる推進と安全活動の融合～
建設業労働災害防止協会 山梨県支部
部長 山本 憲一 様
- 6 閉会式 15:35 ~ 15:40
閉会の言葉

令和6年度 全国安全週間スローガン

『危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽

みんなで築く職場の安全』

令和6年度 全国労働衛生週間スローガン

『推してます みんな笑顔の 健康職場』

令和6年度 安全衛生に係る山梨労働局長表彰 受賞者

【山梨労働局長 奨励賞】

地域の中で、安全衛生に関する水準が特に良好で改善のための取組が他の模範と認められる
事業場又は企業に対する表彰

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

事業の種類：電気機械器具製造業

事業の内容：ネットワーク関連製品の製造

受賞のポイント： 事業場内のリスクの低減に向けて、各部署ごとに作業開始前の危険箇所や危険作業の洗い出しを行うとともに、安全衛生委員会で展開し、その結果は巡視結果と合わせて、社内HPで全労働者に周知してリスクアセスメントを計画的かつ継続的に展開しているなど、労使の協力により実施された安全衛生活動水準は良好で他の模範と認められた。

齋藤建設株式会社 株式会社峡南堂印刷所社屋新築工事

事業の種類：建築工事業

事業の内容：鉄骨造3階建 印刷所・社屋建築工事

受賞のポイント： 工事着手時に店社において、工種ごと、作業段階ごとのリスクアセスメントを行い、リスク低減措置を図って現場に反映させた。また、日々の作業開始前に、現地作業場所にて危険予知活動を実施し、その日ごとの作業内容の注意事項を定めてリスク管理を徹底するなど、リスクアセスメントが計画的かつ継続的に実施された。これらの取組により、延労働時間14,032時間で全工期無災害を達成した。

【山梨労働局長 功績賞】

地域、団体又は関係事業場における安全衛生活動において指導的立場にあり、当該地域、
団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人に対する表彰

寺本 英樹 氏 (元 峡東地域産業保健センター長)

平成26年4月から令和6年6月までの10年3カ月の間、峡東地域産業保健センター長として、地域産業保健センター事業において指導的立場で各事業の実施に努められた。

堀内 哲夫 氏 (元 都留労働基準協会 会長)

平成28年6月～令和6年5月までの8年間、都留労働基準協会の会長として、郡内地域における安全衛生活動の推進に尽力された。

工藤 真仁 氏 (現 公益社団法人ボイラー・クレーン安全協会 甲信事務所 所長)

平成31年3月から現在に至るまで甲信事務所長として、山梨県内のボイラー、クレーン等の設置事業場に対する労働災害防止及びクレーン関係の危険業務に対する技能講習や安全衛生教育等の講習に積極的に取り組まれ、県内ボイラー、クレーン関係者の安全衛生水準の向上に多大な貢献をされた。